

今回は8月号に引き続き、韓国人の生活に欠かせない「パリパリ(빨리빨리:速く速く)」の文化についてお話ししたいと思います。

「パリパリ文化」は、朝鮮戦争後の韓国において、急速な成長を遂げる原動力となった要因の一つと言われています。これは未だに韓国の「国民性」として残っています。

多くの会社では、夕方に資料を渡されて「これをまとめて明日の朝までに会議資料を作っておいてください」といった「いきなり」の仕事が多いです。融通が利くともいえますが、仕事をする側としては、平日・週末関係なく残業をしなければいけないのです。飲み会も当日に決まることが多く、強制参加とお酒を飲まなければならない雰囲気は、仕事の延長と思えるほどで、ストレスになったり体調不良の原因になったりします。

また、この文化は韓国の行政サービスからもわかります。役所・税務署・警察署のような公的機関で行う基本的な行政サービスは、インターネットで手続きが可能。例えば、戸籍や土地台帳の発行、転入届、所得証明、課税状況確認、運転免許情報照会などがあります。

銀行では、証明書類さえあれば、その場で審査を受けすぐにカードなどを発行することが可能です。さらに、いわゆるインターネットバンキングの普及率が高く、入金履歴の確認や他口座への振り込みはもちろん、外国貨幣への両替、地方税や電話代などの生活料金納付のようなさまざまなサービスをインターネット上で利用できます。

最近では、「パリパリ」よりも「自分(企業)のペースで最大の効果を出せるように」という意識が少しずつ広がっています。

※あくまでも韓国全体の文化であり、企業や個人によって異なります。

人権標語

- なれたらいいね こんな人
- 一、人の痛みがわかる人
- 二、他人を大切にできる人
- 三、助けるために行動できる人

学業院中学校1年 いちい ゆずか 一井 柚花さん

季節の生け花



太宰府市華道連盟

うえの ともこ 上野 智子 (檀寺) 池坊

花材 コスモス、ウヅルム、リンドウ

つれづれ

太宰府短歌会

前線に行かざる者がぬくぬくと
督戦せしを歴史は語る

東ヶ丘 磯村 順一郎

炎々と狂はむばかりの愛あふれ
動けずゴッホの向日葵の絵に

筑紫野市 工藤 不二子

吹く風に涼しさ含む朝なれば
嬉しく歩む駅までの道

福岡市 山中 もとひ

飛行機の轟音近づく家の内
一瞬の影苦熱さえさえる

筑紫野市 渡辺 保子

おさなき日海軍蜻蛉と呼びてあし
その赤い胴わが手をのばす

春日市 山本 憲一

太宰府俳句会

冷ましたる南瓜スープの甘さかな

星ヶ丘 柴田 慧美子

聞き直すバターナッツといふ南瓜

水城 福永 惠美

新涼や気を取り直し再挑戦

桜町 古賀 恭子

焼いて煮て甘味ゆるがぬ南瓜かな

小都市 宮原 勝彦

豪快に南瓜丸ごとグラタンに

筑紫野市 幸田 はるみ

飛梅句会

遥かなり思ひ出今に天の川

星ヶ丘 江里口 幸生

令和の地眠りに落ちて天の川

石坂 門谷 とも

銀河濃し一つ零れて流れゆく

大佐野台 金丸 恵子

山国の闇深々と銀河濃し

高雄台 川路 泰子

ダム底に眠る一村天の川

長浦台 徳賀 美智子

宝満句会

秋天へ古都飛鳥寺の鐘一打

筑紫野市 羽野 喜久代

白粉や零れて猫の抜ける路地

福岡市 工藤 友子

おしろいや供華ともならず夕明り

観世音寺 野田 杉子

雑草に埋もれながら白粉花

馬場 野上 コト子

二十歳てふ肌の輝き白粉花

高雄台 荒島 由美子

都久志てんじん句会

待つことの耳ささくくなる秋灯

湯の谷西 矢野 杏子

雨滂沱蜘蛛定点を動かざる

福岡市 塩飽 たか子

炎帝の地表を走る蔓の先

福岡市 宮津 英里子

乱れ萩やがて手放す庭の隅

筑紫野市 津和崎 幸枝

顔に来る風の数多のなかに秋

青葉台 彦坂 正学

太宰府川柳倶楽部

雑踏へポリウムあげる救急車

松川 山根 清

欲捨てた石はころころ丸くなり

国分 岸本 しずえ

島国に生まれ縁なき地平線

水城ヶ丘 植村 克志

通勤の席で作った今日の顔

筑紫野市 東 昭秀

恋草の眠れぬ夜のウイスキー

大野城市 高原 正和